

常務理事会だより

1 透析医療費の実態調査結果について

平成9年および平成10年6月分の外来透析レセプト集計結果が医療経済委員会より報告され、検討された（その結果は本号に掲載）。

2 災害対策について

三多摩地域における東京都・三多摩腎疾患治療医会合同透析医療救援活動訓練が平成11年1月23日（土）に実施された。多摩地区にマグニチュード7.2の大地震が発生し、建物およびライフラインが壊滅状態に陥ったという想定のもとに、全体的には、①被害状況の把握など情報訓練、②搬送訓練、③給水訓練、各施設では、①透析の中断訓練、②避難訓練、が実施された。訓練参加医療施設は76施設であった。

透析医療に関するこれだけ大規模な災害訓練は始めてと思われ、結果についてはあらためて透析医会雑誌への投稿をお願いすることとなる予定。

3 腎不全治療マニュアルについて

腎不全予防医学調査研究委員会（小出桂三委員長）より、1990年に上梓された「腎不全マニュアル」についての改訂の計画が進んでいることが報告された。今回は、「腎不全治療マニュアル（案）」とし、(I)腎不全とは、(II)主な慢性腎不全の原因疾患、(III)保存期慢性腎不全の治療、からなり、初版にはなかった活性型ビタミンD剤や、糖尿病性腎症の薬物療法などが加えられ、改訂される。

4 事務局長について

長年にわたって(社)日本透析医会の事務局長の任務にあたられてきた松添久徳氏が退任されることになった。これにともない新しく石坂武久氏（59歳）が後任として事務局長に推薦され、4月より着任することとなった。

石坂氏は、平成9年より国立高崎病院事務部長を勤めておられた。

松添氏の今後のご健勝をお祈りします。

5 欧米各国の透析事情

(社)日本透析医会と工臓協の合同による欧米各国の透析事情調査が実施された。

各国の保険制度、透析医療費、治療成績、ダイアライザーのリユース、および廃棄物としての処理など、多岐にわたる調査内容が報告された。また、整理のできた項目から、透析医会雑誌へ報告するよう要望がなされた。

（文責：山崎）